

2014年9月

『広報の学校』
入門危機管理広報講座のご案内
《10月30日(木)》

広報の学校
共同PR(株)スクール・セミナー事業部

謹啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日本では最近も個人情報漏洩、冷凍食品農薬混入、食材偽装、暴力団向け融資問題、美白化粧品白斑被害、続発する工場事故と重大リスクが多発し、ますます危機管理の重大さが身にしみて感じる日々が続いています。一方、『ユーチューブ』、『フェイスブック』、『ツイッター』といったソーシャルメディアが危機管理に大きな影響を与えるようになりました。近年、企業を取り巻く環境が激変する中、リスク要因が多様化し、危機に直面するケースが急激に増加しています。しかも、企業が危機管理(メディア対応)で失敗し、重大なダメージを被る事例が相次いでいます。

危機管理に対する関心が急激に高まり、危機管理の巧拙と緊急時のクライシスコミュニケーション(危機管理広報)がブランド維持とダメージ軽減に大きく寄与する重要性が認識されながらも、実際には、では具体的にどうすればいいのかと悩む企業の担当者が多く存在します。

万一、重大事が発生しマスコミが殺到した時の対応はどうか
具体的に緊急時のメディア対応はどうか

本講座はこのようなニーズに応じて企業・団体の広報、総務、危機管理の責任者・担当者を対象にした、危機管理の基本と実践的なノウハウを修得する危機管理面の対応能力向上のための専門研修講座です。

危機管理の基礎、実務教育の一環としてご参加いただけますようご案内申し上げます。

敬具

広報の学校
『入門危機管理広報講座』実施要領

- 対象者: 広報、総務、危機管理部門の責任者・担当者
- 本講座の特色
 1. 具体的な事例研究と実践的対策
 2. ソーシャルメディアリスク事例研究と対応ノウハウの修得
 3. 最近の企業不祥事の傾向(トレンド)と今後の方向性

4. 危機管理の基本(基礎)から具体的なクライシスコミュニケーション
(危機管理広報＝メディア対応)の実務知識、スキルの修得
5. 簡易演習(受講者参加型の実践的研修)の実施
6. クライシスマEDIAトレーニングの実施ノウハウの修得

- 日時 2014年10月30日(木) (AM10:00～PM6:00)
- 講座概要 詳細はカリキュラムをご覧ください。
- 講師 篠崎 良一 PR 総研所長 『広報の学校』学校長 (共同ピーアール(株))
- 会場 『広報の学校』銀座教室(共同PR(株) 研修室)
中央区銀座7-2-22 DOWAビル 3F TEL. 03-3571-5159
- 定員 35名
- 受講料 3万円『消費税、昼食、レジメ・資料代含む』
- 申し込み 受講申込書に記入の上、FAX 下さい。
- FAX送付先 03-3571-5183(広報の学校『入門危機管理広報講座』係)
- 締切り 10月29日(水)
申し込み順、定員になり次第締切りとさせていただきます。
- 受講料支払い 下記の口座にお振込み下さい。
三菱東京UFJ銀行 銀座通支店 共同ピーアール株式会社
普通口座 0656224

※参加者が少数の場合、実施しないこともございます。(受講料は返金いたします)

※請求書が必要の方は申込書にご記入下さい。

※受講料の払い戻しは応じかねますのでご了承ください。

※申し込みされた方が都合で参加できない際の代理出席は可能です。

※キャンセルは前日までに必ずご連絡ください。

〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 DOWAビル
共同PR(株)スクール・セミナー事業部『広報の学校』篠崎・浅沼
TEL. 03-3571-5159
FAX. 03-3571-5183
<http://www.kouhou.jp/>
ipr@kyodo-pr.co.jp

<入門危機管理広報講座カリキュラム>
2014年10月30日(木) AM10:00~PM6:00

日 時	講義テーマ	内 容
講義Ⅰ 10:00~12:00	事例研究 ソーシャルメディアリスク事例と対応	経緯／初期対応(リスク評価)分析／緊急記者会見分析／失敗の要因／問題点／総合評価と教訓 ネットリスク事例／炎上テーマ／炎上に至るパターン／拡大パターン／必要な要素／影響のバロメーター／リスク対応プロセス／対応のポイント／炎上の企業リスク／未然防止策／炎上対策／電凸対応
12:00~13:00	昼 食	
演習 13:00~14:00	<演習> 簡易シミュレーション	各自でリスクシナリオを読んで(キーメッセージ／Q&A／ステートメント)を作成
講義Ⅱ 14:10~15:40	危機管理の基本	企業不祥事の5つのトレンド／危機管理の目的／リスクとクライシス／4つのリスク対応／リスク評価／危機管理広報とブランド回復プロセス／なぜ失敗するのか／平常時広報と危機管理広報の違い／プロセス／5つのダメージ／企業批判の三分野／危機管理の基本
15:40~16:00	休 憩	
講義Ⅲ 16:00~18:00	危機管理広報	危機時の広報担当者の業務／マスコミの企業不祥事への視点／電話対応のポイント／対面取材のポイント／緊急記者会見が必要なケース／緊急記者会見の意味と基本原則／避けるべき失言／出席者の注意／コメントの注意／態度／Q&A作成のポイント

講師=篠崎 良一 『PR総研』所長 『広報の学校』学校長 (共同ピーアール株)

早稲田大学第一文学部社会学専攻卒。出版社(日本実業出版社、ローリングストーンジャパン)を経て、共同PR(株)入社、取締役、常務取締役、取締役副社長を経て現職。

企業・団体の広報・危機管理コンサルティング、広報・危機管理研修担当。

2003年5月『広報の学校』を開校。2013年1月『PR総研』を設立。

企業・団体の総合広報コンサルティング、TOP 広報コンサルティング、広報戦略策定、広報活動調査、広報部創設・育成指導、メディアトレーニングを担当。

危機管理では欠陥商品、リコール、企業不祥事、訴訟問題、企業機密・個人情報漏洩、内部告発、差別・人権問題等、数多くの危機管理実務、クライシスコミュニケーションのコンサルティングを実施。(クライシス)メディアトレーニング、マニュアル制作、危機管理調査も担当。

企業、行政、各種団体の講演、セミナー、研修講師を数多く実施。

著書に『実戦企業広報マニュアル』<韓国版が2004年に刊行>、『会社を守る!もしものときのメディア対応策』(共にインテックス・コミュニケーションズ)、『広報・PR概論』(共著、同友館)、『広報・PR実務』(監修、同友館)、『パブリックコミュニケーションの世界』(共著、北樹出版)他がある。日本広報学会、日本PR協会、日本コーポレートガバナンスネットワーク、各会員。(社)日本PR協会認定資格『PRプランナー』試験委員。

FAX. 03-3571-5183

※キャンセルは前日までに必ずご連絡ください。

広報の学校『入門危機管理広報講座』申込書

日 時 = 2014年10月30日(木) AM10:00~PM6:00

会 場 = 『広報の学校』銀座教室 (共同PR株式会社 研修室)

中央区銀座7-2-22 DOWAビル 3F

TEL.03-3571-5159

申込日 2014年 月 日

御社名		電話	
御住所 〒		FAX	
		Eメール	
御名前		部署・役職名	
請求書	要() 不要()	請求書宛先	
備考欄			

- 参加お申込みはFAXでお願いいたします。

FAX送付先 03-3571-5183

共同PR(株)スクール・セミナー事業部「入門危機管理広報講座」係

- お申し込みされたご本人が参加できない場合の代理参加は可能です。
- 受講料の払い戻しは応じかねますのでご了承ください。
- 受講証を参加者宛にご送付いたします。